

● 新型トコトリエノールとリポ酸で 美白商品OEM業務強化

シクロケム

シクロケムは、アナトー豆由来の新型トコトリエノールとR型 α -リポ酸を、高い美白効果が期待できる内外美容素材としてサプリメント・化粧品の両方でOEM提案していく。

アナトーは熱帯アメリカ原産の常緑低木で、日本ではベニノキと呼ばれる。このアナトー由来のトコトリエノールは、 α (アルファ)、 β (ベータ)、 γ (ガンマ)、 δ (デルタ) の4種類で構成される通常のトコトリエノールと比較して最も抗酸化能の高い δ トコトリエノール90%、 γ トコトリエノール10%で構成されているのが特長。美肌素材では、高い抗酸化能のほか、シミの原因のひとつであるチロシナーゼ低下作用が期待できるという。「海外実験では δ トコトリエノールは、トコ

フェロール4種、トコトリエノール4種の計8種類の中で、もっとも高いORAC値と酸化障害低減に有効なことが確認されている。さらにチロシナーゼおよびメラニン合成に關与するチロシナーゼ関連タンパク質のTRP-1とTRP-2を減少させ、メラニン量も用量依存的に減少することが確認されており、「シミやソバカスの予防・改善や美白に効果が期待できる」という。

R型 α -リポ酸では、メラニン生成抑制効果の高いとされ医薬部外品で利用されるコウジ酸と同じ配合量の0.1%で比較実験を行った結果、同等以上のメラニン生成抑制効果を確認済である。「経口摂取でも塗布しても同様の効果が期待できるので、新たな内外美容商材としてサプリメント、化粧品の両面からOEM提案を進めていく」としている。